

事業所名称(事業者番号): 清水苑居宅介護支援センター (2570500211) TEL0748-48-5062

提供サービス名:居宅介護支援

評価年月日:令和4年3月8日

評価結果整理表

I. 適切なサービスの実施

1 利用者本位のサービス

(1)利用者を尊重する姿勢が明示されている。		着眼点での チェック数	自己評価結果
①	利用者を尊重したサービスの提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	4 項目/4項目	a・b・c
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	3 項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
プライバシー保護に十分注意し、サービス担当者会議時に情報共有している。			
(2)利用者満足の向上に努めている。			
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	4 項目/4項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
ご利用者様ご家族様にアンケートを行い利用者満足の向上に努めている。			
(3)利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	3 項目/3項目	a・b・c
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	5 項目/6項目	a・b・c
③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	3 項目/4項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
利用者が意見等を述べやすいように配慮し、意見等に対しては迅速に対応している。マニュアルの見直しを定期的に行っていると思う。			

2 サービスの質の確保

(1)質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	2 項目/3項目	a・b・c
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	2 項目/5項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
評価を行い結果に基づき取り組むべき課題を把握し、事業所内で話し合うが、改善実施計画を立てて実施するまでには至っていない。			
(2)提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化(業務マニュアル)されサービスが提供されている。	5 項目/6項目	a・b・c
②	標準的な実施方法(業務マニュアル)について見直しをする仕組みが確立している。	1 項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
定期的な見直しを行っていない。			
(3)サービスの実施の記録が適切に行われている。			
①	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	6 項目/6項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
記録は適切に行っている。			

Ⅱ. 介護保険制度の目的と介護支援専門員の役割の説明

1 サービスの開始・継続(ケアマネジメントの開始)		着眼点での チェック数	自己評価結果
(1)	介護保険制度の目的に関する説明	3 項目/3項目	a・b・c
(2)	介護支援専門員の役割の説明	2 項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
介護支援専門員の仕事が多岐に渡っており、最初にはできることとできないことの説明は難しいため、その状況になったときにきちんと説明している。			

Ⅲ. 利用申し込み時の説明

1 利用契約・利用者の権利			
(1)	利用者への重要事項及び利用契約説明における、利用者の状態に応じた説明と利用者の権利の説明	3 項目/3項目	a・b・c
(2)	利用者又はその家族の役割についての説明	1 項目/1項目	a・b・c
(3)	償還払いとなる場合の利用者及び家族への説明と同意	2 項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
きちんと説明を行い対応できている。			

Ⅳ. サービス内容

1 利用者や家族の意向の確認・総合的な援助の方針			
(1)	利用者や家族の意向の確認	2 項目/2項目	a・b・c
(2)	総合的な援助の方針	3 項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
その都度確認できている。			
2 課題分析			
(1)	適切な方法による課題分析の実施	5 項目/5項目	a・b・c
(2)	課題の設定と表現	3 項目/3項目	a・b・c
(3)	利用者・家族の「困りごと」に対する働きかけ	3 項目/4項目	a・b・c
(4)	課題の優先順位の整理	2 項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
認知症の方については普段のアセスメント以外に、認知症の方のためのケアマネジメントを別には行っていないが、認知症の中核症状やBPSD等を考慮したうえで対応を行っている。			
3 長期目標・短期目標			
(1)	長期目標の設定	3 項目/3項目	a・b・c
(2)	短期目標の設定	5 項目/5項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
必要時にはサービス内容に応じて目標設定の期間を変えている。本人の達成できる目標にできるようサービス事業所の担当者に意見を求めている。			
4 サービス内容・種別・利用頻度と期間			
(1)	サービス内容	6 項目/6項目	a・b・c
(2)	他法に関する情報収集と調整	2 項目/2項目	a・b・c
(3)	サービス種別	5 項目/5項目	a・b・c
(4)	サービス利用頻度と期間	6 項目/6項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
利用者、家族、関係機関等の意見を聞きながら行っている。			

5 週間サービス計画表		着眼点での チェック数	自己評価結果
(1) 週間サービス計画表の作成	2	項目/3項目	a・ b ・c
判断した理由・総合評価			
週間サービス計画表にセルフケアやインフォーマルなサービスも記入し、生活全体の流れが見えるようにできていないため。			
6 居宅サービス計画原案の内容と説明			
(1) 居宅サービス計画原案の内容と説明	1	項目/1項目	a ・b・c
判断した理由・総合評価			
説明できている。			
7 サービス担当者会議・関係者の調整			
(1) サービス提供事業者間の連携	1	項目/1項目	a ・b・c
(2) サービス担当者会議	4	項目/4項目	a ・b・c
(3) サービス担当者会議への利用者及びその家族の参加	2	項目/2項目	a ・b・c
(4) 決定された居宅サービス計画の説明と同意	2	項目/2項目	a ・b・c
(5) サービス担当者会議録の作成	2	項目/2項目	a ・b・c
判断した理由・総合評価			
一連の流れはきちんと行えている。サービス事業所が会議に参加できない場合に、利用者の状況を記入し、居宅サービス計画に対する意見がいただける様子を事業所独自で検討し、使用している。			

V. サービス提供の実施状況把握と連絡調整(モニタリング)

1 モニタリング			
(1) モニタリングの実施と経過記録の作成	3	項目/3項目	a ・b・c
(2) 各サービス提供機関が作成した個別援助計画の収集	7	項目/7項目	a ・b・c
(3) 居宅サービス計画の評価及び再アセスメントの実施	2	項目/2項目	a ・b・c
判断した理由・総合評価			
きちんと評価し、必要時には再アセスメントを行っている。			

VI. 資質の向上

1 資質の向上			
(1) 適正なサービス担当ケース数の遵守	1	項目/2項目	a ・b・c
(2) 研修・人材育成	2	項目/3項目	a ・b・c
(3) スーパービジョン(専門的訓練)の実施	2	項目/2項目	a ・b・c
(4) 連絡体制の確保	2	項目/2項目	a ・b・c
判断した理由・総合評価			
給付管理数は事業所全体では超えていない。			

VII. 医療連携

1 医療連携			
(1) 入退院に伴う医療連携	3	項目/3項目	a ・b・c
(2) 主治医との連携	3	項目/3項目	a ・b・c
判断した理由・総合評価			
医療との連携は早急な情報提供を心掛け、きちんと行っている。			

Ⅷ. 地域連携

1 地域連携		着眼点での チェック数	自己評価結果
(1)	地域ケア会議等への参加	1 項目/2項目	☒ a ☐ b ☐ c
(2)	利用者の生活の質の向上を目的とした地域連携	4 項目/4項目	☒ a ☐ b ☐ c
(3)	利用者の財産管理	3 項目/3項目	☒ a ☐ b ☐ c
(4)	利用者の権利擁護・虐待への対応	4 項目/4項目	☒ a ☐ b ☐ c
判断した理由・総合評価			
必要な時には地域ケア会議に参加している。			

Ⅸ. サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立されている。			
①	法人の事業所の理念・基本方針が明文化され、周知されている。	9 項目/10項目	☒ a ☐ b ☐ c
判断した理由・総合評価			
きちんと行われている。			

2 事業計画の策定

(1) 計画が明確にされている。			
①	事業計画の策定が組織的に行われている。	7 項目/8項目	a ☒ b ☐ c
②	事業計画が職員に周知されている。	2 項目/3項目	a ☒ b ☐ c
判断した理由・総合評価			
組織としては事業計画策定されているが(居宅介護支援の)職員にしっかりと周知できていないため。			

3 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	2 項目/2項目	☒ a ☐ b ☐ c
②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	2 項目/3項目	a ☒ b ☐ c
判断した理由・総合評価			
幅広い分野についての法律等を理解し、遵守すべき法律等をリスト化はしていない。			
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	4 項目/4項目	☒ a ☐ b ☐ c
②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	3 項目/4項目	a ☒ b ☐ c
判断した理由・総合評価			
業務の効率化と改善についてはきちんと取り組んでいる。			

X. 組織の運営管理

1 人材の確保・養成

(1) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①	職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	6 項目/6項目	☒ a ☐ b ☐ c
②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	3 項目/3項目	☒ a ☐ b ☐ c
判断した理由・総合評価			
就業状況や意向を把握し柔軟に対応できている。			

2 安全管理

(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		着眼点での チェック数	自己評価結果
①	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	4 項目/4項目	a・b・c
②	災害発生時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	3 項目/3項目	a・b・c
③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	4 項目/4項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
組織としてはきちんと取り組みされているが、居宅介護支援としての取り組みはできてい			

3 関係機関との連携

(1) 関係機関との連携が確保されている。			
①	必要な社会資源を明確にしている。	2 項目/2項目	a・b・c
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	4 項目/6項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
地域の関係機関や団体との連携が現在のところ積極的に行えていない。			